



タイトル「2020年度シラバス」、フォルダ「行政政策学類」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	問題探究セミナー I		
担当教員	長谷川 珠子		
対象学年	1年,2年,3年,4年	クラス	行:D
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	木3	単位区分	必修
授業形態	演習	単位数	2
備考			
特修プログラム		ナンバリング	g3310010
教育目標との関係 (DPポイント配分)	基盤教育 基盤教育	最新の専門知識及び技術	20 %
		本質を見極めるための教養と学際性	20 %
		協働的な問題探究	30 %
		社会の改善につなげる創造性	20 %
		市民としての主体的態度	10 %
授業方法	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> 発表 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> ICT機器の活用		
授業概要とねらい	<p>スタートアップセミナーでは、文章の書き方を学びました。そこで次に問題探究セミナーでは、プレゼンテーションの方法やディベートの方法を学びます。文章を書くのは上手だけれど人前で話すのは苦手といった人や、両方も苦手といった人がいると思いますが、それは方法を知らなかったり、経験がなかったりするからです。ゼミを通して、その方法を学び、経験値をあげましょう。ディベートでは、国際的な問題、国内の問題、地域の問題をテーマに取り上げる予定です(テーマはゼミで話し合って決めます)。準備や議論をするなかで、どういった問題が社会の中にあり、それを解決するためにはどうしたらいいのかが探究する力も身に付けてください。</p>		
単位認定基準	<p>プレゼンテーションの方法を習得する ディベートの方法を習得する 社会の問題を知り自分の考えを持てるようになる ゼミで積極的に発言する 相手の話をしっかり聞けるようになる</p>		
授業計画	<p>(1)ガイダンス・スケジュールの決定 (2)プレゼン・ディベートについて学ぶ (3)プレゼン・ディベートについて学ぶ (4)プレゼン・ディベートについて学ぶ (5)プレゼン・ディベートについて学ぶ (6)ディベート(身近な問題) (7)ディベート(身近な問題) (8)ディベート(地域の問題) (9)ディベート(地域の問題) (10)ディベート(国内の問題) (11)ディベート(国内の問題) (12)ディベート(国際的な問題) (13)ディベート(国際的な問題) (14)まとめ (15)予備</p> <p>受講生の人数や受講生の興味・感心により、演習の内容を若干変更することがあります。</p>		
教材・教科書	演習のなかで指示します。		
参考図書	適宜、演習のなかで指示します。		

参考URL	
授業以外の学習	プレゼンやディベートでは、自分の考えを相手に伝えることが重要ですので、人に何かを説明する際にはどうやったら伝わりやすいのか、普段から気を付けておくとよいと思います。また、社会の問題にも関心をもつようにしてください。
成績評価の方法	8割以上の出席が前提となります。その上で、演習での報告・発言・提出物などを総合的に評価します。
成績評価の基準	S:単位認定基準のすべてを高い水準で満たしている。 A:単位認定基準をすべて満たしかつ3つ以上を高い水準で満たしている。 B:単位認定基準のすべてを満たしている。 C:単位認定基準の3つ以上を満たしている。 F:単位認定基準が2つ以下しか満たされていない。
オフィスアワー	木曜日5時間目
授業改善・工夫	学生が発言しやすい環境を作ります。和気あいあいとした楽しいぜみにならせます。
留意点・注意事項	
教員の実務経験の有無	



Copyright (c) 2004-2011 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.